

安全データシート（SDS）

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 オリシール（硬化剤）
製品コード

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名称 株式会社折原製作所
担当部署
住所 〒329-1332 栃木県さくら市浦須坂 280-2
電話番号 028-682-0181
Fax 番号 028-682-0185
電子メールアドレス
緊急連絡電話番号 028-682-0181

推奨用途

補修用

使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康有害性

急性毒性（経口） 区分 4
急性毒性（経皮） 区分 4
皮膚腐食性／刺激性 区分 1
眼に対する重篤な損傷性／
眼刺激性 区分 1
皮膚感作性 区分 1A

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分 3
水生環境有害性 長期（慢性） 区分 2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急処置]

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水／石けん（鹼）で洗うこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

[保管（貯蔵）]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性
情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

飲み込むと有害
 皮膚に接触すると有害
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 重篤な眼の損傷

3 組成及び成分情報**化学物質・混合物の区別**

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 登録番号	官報公示 整理番号 (化審法・安衛法)	濃度又は濃度範囲 (wt%) *
(α -ヒドロ- ω -ドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)]とペンタエリト リトールのエーテル (4:1)) の2- ヒドロキシ-3-スルファニルプロピ ル=エーテル	72244-98-5	-	50
脂肪酸、C ₁₈ -不飽和、二量体との反 応生成物	68410-23-1	7-445	30
2,4,6-トリ (ジメチルアミノメチル) フェノール	90-72-2	3-714 3-762 3-776	10
テトラエチレンペンタミン**	112-57-2	2-162 7-5	1.5
その他の成分	-	-	8.5

*表記濃度は平均値

GHS 分類については、平均値を使用し検討している。

**化学物質排出把握管理促進法 第1種指定化学物質 (2023年3月31日まで)

**化学物質排出把握管理促進法 第2種指定化学物質 (2023年4月1日以降)

GHS 分類に寄与する成分

2,4,6-トリ (ジメチルアミノメチル) フェノール、テトラエチレンペンタミン

4 応急措置**ばく露経路による応急措置**

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移す。
 呼吸をしていないあるいは呼吸が不規則である場合は、
 訓練を受けたものが人工呼吸または酸素供給を行うこ
 と。症状が持続する場合は医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

汚れた衣服をすぐに取り除くこと。
 多量の石鹼と水で汚染された皮膚を洗い流し、汚染され
 た靴と衣服を脱がせる。汚染された衣類は、脱ぐ前に手
 袋を着用し水で十分に洗う。徹底的に洗浄するまで、衣

眼に入った場合	服を再使用しないこと。症状が続く場合は、医師の診断を受ける。 まぶたを開けたまま、少なくとも 30 分間、または本製品を除去するまで多量の水で洗い流す。コンタクトレンズの着用の有無を確認し、着用している場合にははずす。症状が続く場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	飲み込まないこと。飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受ける。口を水で洗い流す。医師の指示がある場合を除き、吐かせないこと。仰向けに寝ている間に嘔吐を起こした場合は、横向きにする。眠気、痙攣、意識消失がない限り、コップ 1 杯の水を与える。意識のない人には何も与えないこと。医師の診察を受ける。

急性症状の最も重要な徴候症状

飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
重篤な眼の損傷

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

皮膚感作性（アレルギー）は発疹、特にじんま疹によって分かることがある。

5 火災時の措置

適切な消火剤

CO₂、消火粉、水噴霧。
大規模な火災には、水噴霧またはアルコール耐性泡消火剤を使用する。
いずれも環境に適した消火方法を用いる。

使ってはならない消火剤

製品は水と混和しないまたは混和しにくいいため、直接の棒状注水を避ける。
水や霧を高温または燃焼中の液体の入った容器に噴霧すると、激しく泡が立つ。

火災時の特有の危険有害性

製品は予熱しないと燃えない。燃焼生成物にばく露後あるいは数時間後に遅発性肺障害（肺水腫）が発生することがある。火災により、窒素酸化物等の危険有害を燃焼されると窒素を含有する化合物が放出される可能性がある。

火災にさらされた容器は水で冷やす。

燃焼による分解生成物：窒素酸化物、一酸化炭素、窒素を含む有機化合物

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

自給式呼吸器を着用する。適切な消火用保護衣を着用すること。爆発ガスや燃焼ガスを吸入しないこと。陽圧式呼吸器を含む適切な防火服（顔面シールド付きヘルメット、防火衣、手袋、ゴム長靴）を着用しないで、閉鎖された火災空間に入らないこと。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

容易に発火しないが、火傷することがある。大量の漏出物を掃除する場合は慎重に判断する。
危険でなければ漏れを止める。

環境に対する注意事項

環境汚染を避けるために適切な封じ込めを使用する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

吸収材（砂、珪藻土、酸性結合材、汎用結合材、おがくず）で吸収させる。汚染された材料は、項目13に従って廃棄物として処理する。十分な換気を行う。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

適切な換気を行い、必要に応じて局所排気を行う。皮膚や眼に触れないようにする。適切な保護衣、手袋を着用すること。ガス、フェーム、エアロゾルを吸入しないこと。エアロゾルの発生を防止する。眼への重篤な刺激性、皮膚刺激性、胃腸への刺激の可能性がある。

鼻、喉、呼吸器官に強い刺激を与えることがあり、皮膚感作性を引き起こす可能性がある。空容器でも残留物があり、危険物を含んでいる可能性がある。靴を含む汚染された革製品は、再使用を防ぐために廃棄する必要がある。

この製品を約 149°C以上に加熱すると、緩やかな酸化分解が起こる可能性がある。

260°C以上では、重合が起こる可能性がある。エポキシ樹脂の中には発熱反応を起こすものがあり、大量に使用す

ると重合が暴走反応を起こすことがある。これらの熱分解や化学分解による煙や蒸気は非常に有毒である可能性がある。有機蒸気に対しては、大気供給用呼吸器または空気浄化用呼吸器を使用する。

接触回避
衛生対策

熱、高温、発火源、着火源等
食前、喫煙前、トイレの使用前、終業時に手を洗う。
食品、飲料、飼料から遠ざけること。
汚染された衣服をすべて直ちに取り除く。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

技術的対策

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質
保管条件

静電気放電に対する予防措置を講ずること。
還元剤、重金属化合物、酸およびアルカリ、強酸化剤
適切な換気のある、涼しく乾燥した場所に保管する。
火気、高温から遠ざけて保管する。

安全な容器包装材料

容器を密閉して保管する。
混触禁止物質と一緒に保管しないこと。
破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

ACGIH TLV-TWA (2022)

設定されていない

ACGIH TLV-STEL (2022)

設定されていない

日本産業衛生学会 (2021)

設定されていない

設備対策

適切な換気を行うこと。

取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

短時間ばく露または汚染が低い場合は、呼吸用フィルターを使用する。

集中的または長期ばく露の場合は、循環空気に依存しない呼吸用保護具を使用する。

手の保護具

耐薬品性の不浸透性手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具

通常の手取り扱いは安全メガネを着用すること。

製品が密閉され保管中に加熱処理、または包装開封時は密閉型ゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

特別な注意事項

情報なし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	情報なし
臭い	腐った卵（メルカプタン）のような臭い
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	220°C
自然発火点	自然発火せず
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水と混和しない、または混和しにくい
n-オクタノール／水分配係数（log値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	該当しない
その他のデータ	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱い条件下では安定である。
化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	エポキシ樹脂を大量に使用すると有害な重合が起こる可能性がある。
避けるべき条件	熱、高温、発火源、着火源等 混触危険物質と一緒に保管しないこと。
混触危険物質	還元剤、重金属化合物、酸およびアルカリ、強酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼による分解生成物：窒素酸化物、一酸化炭素、窒素を含む有機化合物

11 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	一次刺激性：皮膚への刺激性は認められない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	一次刺激性：眼に対する刺激がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない

吸入により感作される。

皮膚感作性：区分 1A

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

成分の有害性情報

（ α -ヒドロ- ω -ドロキシポリ [オキシ（メチルエチレン）] とペンタエリトリトールのエーテル（4：

1）の 2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル＝エーテル

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：情報なし 皮膚感作性：情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

脂肪酸、C₁₈-不飽和、二量体との反応生成物

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：情報なし 皮膚感作性：情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

2,4,6-トリ（ジメチルアミノメチル）フェノール

急性毒性（経口）	区分 4 ラット LD ₅₀ = 1916～2455 mg/kg ラット LD ₅₀ = 1,378～1,968 mg/kg ラット LD ₅₀ = 2,400～2,600 mg/kg
----------	--

急性毒性（経皮）	ラット LD ₅₀ = 1,000~1,340 mg/kg 区分4
急性毒性（吸入：ガス）	ラット LD ₅₀ = 約 1,280 mg/kg 区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	GHS の定義における液体である。 情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	区分1 ウサギを用いた試験において（OECD TG 404、GLP）腐食性あり（corrosive）との結果に基づき区分1とした。 なお、ウサギを用いた別の試験でも腐食性あり（corrosive）との結果が得られている。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1 皮膚刺激性について腐食性物質として区分1に分類していること、CLP/GHS では H319（重篤な眼刺激性）に分類されていること、さらに List 3 の情報であるが、ウサギを用いたドレイス試験で刺激性は重度（severe）との記載があること、以上の知見に基づき区分1とした。なお、ウサギを用いた試験で軽度の刺激性（slightly irritating）との報告もあるが詳細不明である。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない データなし 皮膚感作性：分類できない モルモットを用いた皮膚感作性試験（Buehler Test: OECD TG 406）で感作性なし（not sensitizing）との結果が報告されているが、List 2 の情報であり、かつ感作された動物の比率が不明のため「分類できない」とした。
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない ラットを用いた14日間経皮投与試験において、高用量の1.0 mL/kg/day 群で痂皮形成と潰瘍による極めて重度の皮膚刺激性のため、4日後に投与中止された。低用量の0.1 mL/kg/day（90日換算値：約15 mg/kg/day）群では軽度の皮膚刺激性と体重低下のみで、一般状態に影響はなく、剖検においても皮膚の適用部位を除き対照群との差はみられなかったが、ガイダンス値範囲内の用量のため分類できない。また、他の投与経路についてもデータがなく「分類できない」とした。
誤えん有害性	情報なし。
テトラエチレンペンタミン	
急性毒性（経口）	区分に該当しない ラット LD ₅₀ = 3,250 mg/kg ラット LD ₅₀ = 2,100 mg/kg

急性毒性（経皮）	ラット LD ₅₀ = 3,990 mg/kg 区分 3
急性毒性（吸入：ガス）	ウサギ LD ₅₀ = 1,260 mg/kg 区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	GHS の定義における液体である。 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット 4 時間 LC ₅₀ > 0.107 mg/L 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	区分 1 ウサギを用いた複数の試験（Draize Test 等）で試験物質を希釈せず 4 時間適用した場合、各試験とも半数以上の動物で壊死が見られ腐食性（corrosive）と評価されている。また、EU-Risk Phraize が「R34 : corrosive」であり、pH は 11.5 以上である。以上より区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1 ウサギを用い試験物質の濃度と量を変えて眼に適用した試験では、角膜損傷と虹彩炎を起こし中等度の刺激性（moderate irritating）の評価であったが、試験物質 5 滴を適用した試験では重度の熱傷（severe burns）を生じ強い刺激性（highly irritating）と評価されている。加えて、EU-Risk Phraize が「R34 : causes burns」、及び、pH が 11.5 以上であり、皮膚では腐食性が確認されていることから区分 1 とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：情報なし 皮膚感作性：区分 1 モルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization Test）において、陽性率 78%（14/18）で感作性あり（sensitizing）の結果に基づき区分 1 とした。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない マウスに腹腔内投与による赤血球を用いた小核試験（体細胞 <i>in vivo</i> 変異原性試験）の陰性結果に基づき区分外とした。なお、 <i>in vitro</i> 変異原性試験においては細菌を用いた復帰突然変異試験で菌株により陽性所見が散見される。
発がん性	分類できない 雄マウスに生涯経皮ばく露した試験において皮膚に発がん性は認められていないが、この結果のみではデータ不足で分類できない。
生殖毒性	分類できない テトラエチレンペンタミンの生殖発生毒性に関してはデータが得られないため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない テトラエチレンペンタミンを反復ばく露した試験データは少なく、分類に利用できる情報も乏しい。ウサギを用いた 4 週間経皮投与試験において高用量群（200 mg/kg/day）でも全身毒性は認められず、この用量が NOAEL とされたが、ウサギの経皮投与のみのデータで

誤えん有害性
は不十分であり分類できない。
情報なし

その他の成分

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：情報なし 皮膚感作性：情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期（急性） 情報なし 水生環境有害性 長期（慢性） 長期継続的影響によって水生生物に毒性
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

成分の環境影響情報

(α -ヒドロ- ω -ドロキシポリ[オキシ(メチルエチレン)]とペンタエリトリトールのエーテル(4:1))の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル＝エーテル

生態毒性	水生環境有害性 短期（急性） 情報なし 水生環境有害性 長期（慢性） 情報なし
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

脂肪酸、C₁₈-不飽和、二量体との反応生成物

生態毒性	水生環境有害性 短期（急性） 情報なし 水生環境有害性 長期（慢性） 情報なし
------	--

残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

2,4,6-トリ（ジメチルアミノメチル）フェノール

生態毒性	水生環境有害性 短期（急性） 情報なし 水生環境有害性 長期（慢性） 情報なし
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

テトラエチレンペンタミン

生態毒性	水生環境有害性 短期（急性）区分1 藻類（ <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> ）の72時間 ErC ₅₀ = 0.12 mg/L から区分1とした。 水生環境有害性 長期（慢性）区分1 急性毒性区分1であり、急速分解性がないことから、区 分1とした。
残留性・分解性	難分解性 4週間試験での分解度：0%（OECD 301D 準拠）
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

その他の成分

生態毒性	水生環境有害性 短期（急性） 情報なし 水生環境有害性 長期（慢性） 情報なし
残留性・分解性	情報なし
生物蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13 廃棄上の注意

化学品汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
残余廃棄物

家庭ゴミと一緒に廃棄しない。
製品を下水道等に流さないこと。

本製品の溶液および副生成物の廃棄は、常に環境保護、廃棄物処分法ならびに地域の地方自治
体の要求事項に準拠すること。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

国連番号	2735
品名（国連輸送名）	アミン類、液体、腐食性、他に分類されない(ポリアミノアミド)
国連分類	8
副次危険性	-
容器等級	III

海上輸送（IMOの規定に従う）

国連番号	2735
品名（国連輸送名）	アミン類、液体、腐食性、他に分類されない(ポリアミノアミド)
国連分類	8
副次危険性	-
容器等級	III

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

国連番号	2735
品名（国連輸送名）	アミン類、液体、腐食性、他に分類されない(ポリアミノアミド)
国連分類	8
副次危険性	-
容器等級	III

海洋汚染物質

該当

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制

陸上規制情報	毒劇物取締法、道路法に従う。 消防法に該当する可能性がある。
海上規制情報	船舶安全法に従う。

航空規制情報

航空法に従う。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質（管理番号276、3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン）（2023年3月31日まで） 第2種指定化学物質（管理番号276、3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン）（2023年4月1日以降）
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（2,4,6-トリス（ジメチルアミノメチル）フェノール）（1重量%以上を含有する製剤その他の物）（2025年4月1日以降） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（2,4,6-トリス（ジメチルアミノメチル）フェノール）（1重量%以上を含有する製剤その他の物）（2025年4月1日以降） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（テトラエチレンペンタミン）フェノール（1重量%以上を含有する製剤その他の物）（2025年4月1日以降） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（テトラエチレンペンタミン）フェノール（0.1重量%以上を含有する製剤その他の物）（2025年4月1日以降）
毒物及び劇物取締法	劇物（3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン及びこれを含有する製剤） 含製剤

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法	危険物 第四類引火性液体第四石油類
水質汚濁防止法	指定物質（フェノール類及びその塩類）
下水道法	水質基準物質（フェノール類）
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（ポリエチレンポリアミン） ペンタエチレンヘキサミンを除く。
航空法	アミン類（液体）（腐食性のもの）（他に品名が明示されているものを除く。）
船舶安全法	アミン類又はポリアミン類（液体）（腐食性のもの）（他に品名が明示されているものを除く。）
道路法	車両の通行の制限（3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン及びこれを含有する製剤） 含製剤、液体
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項（酸素官能のアミノ化合物）

16 その他の情報

参考文献

株式会社折原製作所提供資料

NITE GHS 分類結果一覧（2022）

日本産業衛生学会（2021）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2022) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成

していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。